

大型ダブルハルタンカー「ENEOS TOKYO」の竣工について

記者各位

当社(社長:渡 文明)の原油輸送部門子会社である新日本石油タンカー株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:神田 康孝)は、株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド(本社:東京都港区、社長:今清水 義紀、以下「IHIMU」)に対し、大型タンカー(VLCC)の造船発注をしておりましたが、7月17日(土)、同船がIHIMU呉工場(広島県呉市)にて竣工いたしますので、お知らせいたします。

なお、本船は「ENEOS TOKYO」と命名されます。

「ENEOS TOKYO」は、新日本石油タンカー(株)が所有する「東京丸」の代替船として、今後、主に日本と中東間の原油輸送に従事いたします。

また、同船は、「ENEOS」(エネオス)ブランドが名前についたダブルハル(2重船殻)自社大型タンカー(VLCC)では、「ENEOS BREEZE」(昨年9月竣工)に続き、2隻目となります。

同船の竣工により、当社グループが所有・用船するVLCCのうち、約8割がダブルハルとなります。

国際海事機関(IMO)は、2003年のMARPOL条約改正によって、既存シングルハル(1重船殻)タンカーの取り扱いについて、2015年までに段階的に廃止することを義務付けました。当社グループも引き続きダブルハル船の拡充に積極的に取り組み、海洋環境保全に努めてまいります。

なお、「ENEOS TOKYO」の概要は下記のとおりです。

記

<ENEOS TOKYO>の主要目>

載貨重量	300,976トン
長さ(全長)	333メートル
幅	60メートル
吃水(満載)	20.526メートル
主機出力(連続最大)	36,927馬力
航海速度(満載)	15.4ノット
船籍	日本
船舶所有者	新日本石油タンカー(株)
乗員数	28名
契約	2001年3月8日
起工	2003年10月22日
進水	2004年4月2日
竣工	2004年7月17日



以上